

---

# 隣のミー子

花子

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

隣のミー子

### 【Nコード】

N2429T

### 【作者名】

花子

### 【あらすじ】

俺とミー子の奇妙な日常

(前書き)

こんな平凡な一日に幸せが隠れています。

ねえ・・・私の事嫌い？

なんて隣の家のミー子が擦り寄ってくる。

別に嫌いな訳じゃない。顔も小さくて目もぱっちり、サラサラのポップスタイルも問題ない、俺的にはちょっとぽっちゃりしていて抱きこちがよさそう。

でも俺達も17歳になり子供の時とは違う。

現にミー子には彼氏がいるじゃないか？

なんで日曜日に彼氏じゃなく俺と一緒にいる・・・おかしいだろう。

「康太お腹空いたからご飯作って・・・」

なんで俺が、自分の家帰れ・・・と思いながらも立ち上がる・・・すると

「私、康太のオムライスが食べたい。フワフワのオムライスね」

俺は仕方なく台所に立ちオムライスを作り出す。

「卵3個割ってよくかき混ぜといて・・・」

ミー子が手伝える範囲を野菜を切りながら指示する。

みじん切りにした玉ねぎとピーマンを炒めながらミー子の様子を窺う。

なんか卵の殻・・・入ってなきやいいけど・・・

完成したオムライスをミー子の前に置いてやるとスプーンで一口頬張る。

なんかハムスターみたいだなと思って見ていると

「おいしいーオムライスは康太の作ったのが一番だね」

なんて可愛いことを言っつて満面の笑みを浮かべる。

「食べてばかりいるとデブになって彼氏に振られるぞ」

意地悪を言っつと・・・ミー子は途端に泣き出した。

「デブになっつても康太には関係ないもん、彼氏だっつてだいが前にデブは嫌いだっつて

振られたもん、痩せて見返してやるもん」

そう言っつてオムライスを泣きながら頬張っつている。

痩せるっつもりの奴がそんなに食うか？

俺なら今のままで十分だと思っつう。

オムライスを食っつてお腹が膨れたら眠っつてしまった。

俺は片付けを終えてからミー子をベッドに運んで布団を掛けてやる。

オムライスのお礼に触れるだけのキス

ミー子のファスト・キスの相手は俺だ。ミー子は気付いてないけど・

俺はいつまでこんな事を続けるのか？

彼女でも作ろうかな・・・きっとミー子のことを優先してしまうから無理かな・・・

早く気付けよ・・・俺の気持ち・・・

猫みたいなミー子

後少しだけ待ってやる・・・

(後書き)

なんとなく書いてみました。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2429t/>

---

隣のミー子

2011年5月23日06時14分発行